チリ通信

2024 年 5 月 23 日　第 7 号

JICA 海外協力隊　チリ派遣
環境教育隊員　境 純一

私の生活先

私が暮らしている生活先はカバーニャと呼ばれるタイプの住居です。本来は宿泊施設として使われている施設で、現在はここの一室をお借りして生活を送っています。
部屋は一室のみでバスルーム付きです。キッチンは他の宿泊客との共同。洗濯機はなく、洗濯は町のクリーニング屋を利用しています。体感としてはビジネスホテルに滞在しているような感じに近いです。
生活先での一番のお気に入りポイントは大家さん家族が同じ敷地内で暮らしており、非常によくしてくれるところです。本当に優しい家族で、毎朝朝食を出してくれたり、よく食事に誘ってくれたりと普段から家族のような関係で接してくれます。そのおかげで毎日家帰るのが楽しみになっています。

生活部屋

大家さん（右手前）とその家族

学校訪問

今月は７歳から１４歳までの子供たちが在籍している町内の学校を訪問し、９つのクラスで授業を行いました。
授業のテーマは「ゴミがなくなるまでの時間」。ポイ捨てしたゴミのほとんどは分解されずにその場所に溜まり続けること。ゴミはゴミ箱にきちんと捨てようという話をしました。
これまでの経験から、ただ話すだけでは子供たちの集中力が最後まで持たないように感じたので、今回はクイズを多めに入れたり、途中日本の紹介も交えたりしました。結果最後まで退屈せずに話を聞いてくれていたような気がします。
訪問を初めばかりの頃はガチガチに緊張して全然上手く行かなかった授業ですが、数をこなすうちにだんだんと慣れ、落ち着いて出来るようになってきたと今回の訪問で感じました。活動の手応えのようなものはあまりないのですが、子供たちが楽しそうにしてくれるので今はそれでいいかなと思っています。そして彼らが日本の言葉や文化に興味、関心を示してくれることが何より嬉しいです。

授業の様子